

【資格の大原 静岡校】

2023 年度 宅建士試験 合格者インタビュー



Y ・ S

2023年 宅建士合格コース・入門パック
2023年 宅地建物取引士試験 合格

受験の動機

宅建士試験を受験しようと思った動機は何ですか？

Y・S 不動産会社勤務の夫から宅建士をとったらどうか、と前々から言われていました。私自身もかつて不動産会社に事務職で勤務していたことがあり、宅建士のことは当然、知っていました。ただ、そんな簡単に取れる資格ではないことも知っていました。また、学生時代、勉強が苦手だったこともあり、どうしようか迷いました。しかし、去年の年末に仕事を辞めたため、時間的に勉強に専念することができ、将来、役立つかもしいないと思い宅建士の受験を決意しました。

資格の大原 を選んだ理由

資格の大原で勉強しようと思った理由を教えてください。

Y・S これも夫から『大原に行ってみたら!?』と言われたので決めました。夫はかつて他の学校で宅建士の勉強をしたことがあったのですが、映像授業だったため続かなかったようです。

資格の大原を勧めてくださったのですね！それは嬉しいです

「学校に行ってみれば!?」ではなく、「大原に行ってみれば!?」と言われました。笑
私自身、自宅から近く駐車場もあり、何より直接、先生から授業を受けることができる点が大原を選んだ理由です。

勉強に関して

勉強方法を教えてください。

Y・S 学生時代、勉強が苦手でしたので、なかなか自分に合う勉強方法がみつかりませんでした。単語カードも作ってみたのですが、途中で止めてしまいました。しばらくの間、復習の方法は、テキストを読んで問題を解くだけであり、それは続けていました。しかし、時間が経つと忘れてしまう状況でした。そのため、ノートに学習した内容を整理しながら書くことにしました。そうする事で、あとで自分が書いたことを『映像化』して思い出せるようになりました。

しかし、それでも次から次に新しい知識を覚えなければならず、時間が経つと忘れてしまいます。そこで今度は、勉強して書いた紙を冷蔵庫や食器棚などに貼るようにしました。部屋中が貼り紙だらけになりますが、毎日、目にすることで知識が定着するように心掛けました。



途中で勉強を止めたくなくなったことはありますか？

Y・S それはありませんでした。学費も払ってましたし笑、「必ず今年取る！」という思いが強くありました。何年も大変な勉強をしたくありませんでしたので 笑。
それと教室で同じクラスの方がいたこともよい刺激になりました。一人では続かなかったかもしれません。

その他、勉強で工夫されたことはありますか？

Y・S 「外で勉強したほうが良い」と石田先生がおっしゃっていましたが、全くその通りだと思いました。家で勉強していると、(飼っている)猫が机の上に乗ってきて邪魔をするし(笑)、家事が気になってついつい手を出してしまったり、少し眠くなったら寝てしまったりと、いろいろと誘惑が多いので、絶対、外に出た方がよいと思いました。
図書館はもちろん喫茶店などでも勉強しました。喫茶店でも勉強している方が意外と多く勉強モードにすぐに入ることができました。特に気に入りは県立図書館です。行くま

でに少し時間がかかるので、最初は移動時間がもったいないとも思いましたが、「移動時間はリフレッシュする時間」と考えるようにしました。県立図書館は特に勉強に適した雰囲気があり、よく利用させて頂きました。

本格的に勉強の“やる気スイッチ”が入ったのはいつからですか？

Y・S 『法令上の制限』に入ったあたりからなので、だいぶ遅かったです。『合格シート』に自分で書いた残日数を見て、改めて「あと、〇〇日しかない！」と意識した時にスイッチが入りました。それからは、一日何も勉強しないしていると不安を感じるようになりました。



直前対策期

試験直前期の勉強の仕方を教えてください。

Y・S 直前期に入っても基礎期から使っている『トレーニング問題集』を繰り返しやりました。解いた時に問題集の欄外に日付を記入し、間違えた問題には付箋を貼りました。だいたい4～5回転ぐらいやりました。勉強時間も増えて1日4時間ほど勉強をしました。

本試験

本試験当日の様子はいかがでしたか？

Y・S 試験会場には1時間ほど前に行きましたが、すでに少なからず人がいました。自分では緊張していないと思っていたのですが、テキストを開いても全然、頭に入って来なくて、その内、喉は乾いて来るし…。やっぱり緊張しているんだな、と思いました。

本試験の最中もやっぱり緊張していたのか、あらかじめ問題を解く順番を決めていたのですが、問題を解いている途中で、自分が計画した順番ではないという事に気づいて慌てて軌道修正するという事がありました。

それでも少し時間を残してひと通り終えることが出来ました。試験前に先生から、『初見の時に出した答えは、よほどのことがない限り変えない方がよい』と言われていましたが、時間的に余裕があったため、2つの問題について見直しをして答えを変えました。2つの問題の内、一つは正解にすることができ、もう一つは、正解だったものを不正解にしてしまい、結局±0で変わりませんでした 笑。

試験が終わった時は「やり切った！」という爽快感は全くありませんでした。ダメかもしれないという気持ちがありましたので…。



自己採点はしたのですか？

Y・S 本試験当日の夜、自己採点をしました。最初、怖くてできなかったのですが、その様子を見かねた夫が「俺が見るよ。」なんていうので、「いやいや(ちょっと持って！)それだったら自分でみるよ(苦笑)。」と思って自己採点をすることにしました。

自分の問題冊子に正解したものにマルをつけながら自己採点をしました。ひと通り採点した後、マルの数を数えたのですが、その際に重ねてページをめくってしまったみたいで数え間違いがあり34点だったんです。その時は、(34点かぁ、ダメかも….)と思って、ショックで泣きそうになりました。そんな私を見て夫も無言になってしまいました…。

何とか気を取り直し、夫に「点数を数えてみて。」と自己採点した問題用紙を渡しました。しばらくして、夫が「え、36点だよ！」と… 笑。でも、予想点が37点±1点だったので、手放しでは喜べませんでした。

合格発表

合格発表の時のことを教えてください。

Y・S 見るのは怖かったですけど、合格発表は朝 9 時半にインターネットで確認しました。嬉しくて涙が出るというのは、本当に久しぶりでした。

やはり嬉し涙がでたんですね。

涙が出ました。(あーよかった！)と思って。そしたらすぐに勤務先から夫が電話を掛けてきてくれました。「ヤッター！！」と言って、すごい喜んでくれました。それも嬉しくて…。

でも、その後、合格証が届くまでは本当に合格しているのかなという一抹の不安がありましたので、何度もインターネットで受験番号を確認してしまいました。なので合格証が来たときは、(ああ、本当に受かったんだ)と思ってホッとしました。



今後の抱負

今後の抱負をお願いします。

Y・S 今後の抱負ですが、夫からは、今度はマンション管理士を取ることを勧められています。(自分がとればいいのに！)と思いますが…笑。でも、今回の勉強で、学生時代に勉強が苦手だった私でも国家資格が取れるんだ！という事が自信になりました。それと、勉強の楽しさを知ることができました。だから今では、(勉強も悪くないな！)と思っています。

これから宅建士をめざす方へのアドバイス

これから宅建士試験を目指す方へのアドバイスををお願いします。

Y・S 『絶対、学校に来る』というのが一番です。お仕事など忙しいとは思いますが、とにかく都合をつけて学校は絶対に来た方がよいです。(来れなかった時は映像でみればいいや)と思うかもしれませんが、映像だと何となく聞いちゃうということもあり、私自身、映像授業を受けるのと、石田先生の授業を受けるのでは全然違うと思ったので、この点はすごく大事です。

もう一つは、『今年、どうしても取りたい』という気持ちが大切だと思います。私は、(受からなかったら来年でもいいかな)っていう気持ちは無かったです。やりたいことを我慢して勉

強をするということもあるので、『必ず今年取る！』という気持ちでやりました。

(勉強を途中で止めたい)、とは一度も思いませんでした。勉強が分かってくると本当に楽しく感じ、『あっ分かった！』という瞬間があって、そういう時は勉強が普段以上にはかどっちゃいます。

独学では難しいと思うんで、ちゃんと学校に行って教えてもらってやる。そして『必ず取る！』という気持ちでがんばってください！ 応援しています！！



写真左 Y・S様 写真右 石田俊一講師

宅建士試験の合格、おめでとうございます！ Y・S様の益々のご活躍を祈念しております！
『必ずワンチャンある！ 楽しみながらがんばる！』

2023年12月14日

担当講師 石田俊一・大原スタッフ一同